

## 能勢町産材の調達期間について

丸太が原木市場へ出荷されてから、製材・加工して建設現場に到着するまでに要する期間は、1ヶ月～3ヶ月となる。

	製材品・集成材別調達必要実日数(30m <sup>3</sup> 当たり)		備考
	製材品	集成材	
原木調達	7～14日	7～14日	原木市場の市日の間隔
製材	7日	7日	
乾燥	7～21日	—	人工乾燥で要する期間
集成材製造	—	21～42日	人工乾燥期間を含む。
プレカット	7日	7日	
累計	28～49日 (1.2ヶ月～2.0ヶ月)	42～70日 (1.8ヶ月～2.9ヶ月)	( ) : 必要実日数を稼働24日/月で換算

## 備考:

- ・伐採可能時期が11月～2月の期間に限られるため、1年中常に上記の調達期間で調達できるわけではない。
- ・市場に流通している量だけで賄えない場合は、森林を伐採することになる。その場合、森林所有者から伐採OKをもらうための期間や伐木・造材期間として、1ヶ月～6ヶ月程度を加えることになる。
- ・葉枯らし乾燥材(2～5ヶ月)や天然乾燥木材(4～24ヶ月)、手刻みによる仕口・継ぎ手加工(1ヶ月)、不燃処理(1ヶ月)などを選ぶ場合には、さらに加算する。
- ・上表は30m<sup>3</sup>当たりの調達期間である。製材工場等の処理能力には限りがあるため、調達量が増えれば、調達期間も長くなる。

⇒スムーズな調達を行うには、企画・立案段階から木材相談を始めることが必要

※本資料は埼玉県の「木造公共建築物整備の手引」を基に、大阪府森林組合から聴取した内容を加味し、作成した。